

1 単元名 Unit7 「What do you want?」

2 単元について

本単元における学習事項は、新学習指導要領、(2) 話すこと[やり取り]ウ「サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。」である。本単元の主なねらいは、店員と、食材を集めたい客との関係において、「What do you want?」「I want ~.」「How many?」などの既習表現と「pineapple」「melon」「kiwi fruit」「corn」「mushroom」といった新出単語を含む果物や野菜の単語を組み合わせ、複数の相手に尋ねたり、要求したりし、何往復かのやり取りをすることである。

児童はこれまで、無作為に決められた相手とやり取りをする経験を多く積んでいるが、やり取りする相手を自分で選ぶ経験は少ない。本研究の外国語活動で目指す自律性の関係から、児童が自らやり取りする店を選択し、進んでコミュニケーションを図る姿を引き出していきたい。なお、このような姿は新学習指導要領で目指す姿を包含していると考えられる。

単元序盤では、様々なゲーム等を通して聞く、まねる、言う活動を繰り返して行い、児童が新出単語を自信をもって言えるようにする。単元中盤では、前時までに児童が新出単語に自信をもち、身に付けてきたことを土台として、新出単語を表現する場を保障する。店員と、食材を集めたい客とのやり取りにおいて、客は複数のお店の中から場や望む食材を自分で選択し、「I want ~.」や果物の新出単語を組み合わせながら店員とやり取りしてお金を渡し、店員は客の要望に応じて「What do you want?」「How many?」などの既習表現を用いて客とやり取りし、食材を渡す。これらの活動を通して児童がコミュニケーションを図る楽しさを実感できるようにしていきたい。単元終盤では、自分の好きなピザを作るために店員と客に分かれて単元中盤と同様の活動を行う。しかし、ピザの具の大きさを変える、パン生地をの形を変える、店によって置いている食材の値段や品揃えを変えるという場の設定をすることによって、お客は「How much?」や「Circle, please.」などの既習表現を、店員は「What ~ do you want?」や「Big or small?」などの既習表現を用いたり、価格や商品の確認を行ったりしてやり取りする姿を引き出していきたい。このように、実生活に近いコミュニケーション場面を段階的に設定して活動することによって、コミュニケーションを円滑にするための知識・技能を活用し、工夫しながら互いの考えを伝える姿、つまり、児童が必要に応じて自身で伝え合う場を選び、状況に応じて既習表現を選択してやり取りする姿を目指していきたい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

様々な食材の言い方に慣れ親しみ、「What do you want?」などの既習表現を用いて店員として尋ねたり、「I want ~.」などの既習表現と野菜や果物の新出単語を組み合わせ客として注文したりし、状況に応じて進んでやり取りしようとする。

(2) 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
ア 野菜や果物の新出単語の発音を聞いたり、まねをしたり、言うおとしたりする活動を進んでいる。	ア 果物の新出単語や I want ~. What do you want? などの既習表現を用いて友達と伝え合っている。	ア 世界の市場と日本の市場を比較し、共通点や相違点に気付いている。
イ 店員として最後まで丁寧に接客したり、客として自分が望む食材を伝えたりしようとしている。	イ 野菜の新出単語や I want ~. What do you want? などの既習表現を用いて友達と伝え合っている。	
ウ 店員の立場として相手に配慮してやり取りしようとしている。		

4 本単元において育みたい自律性と、働かせる「見方・考え方」

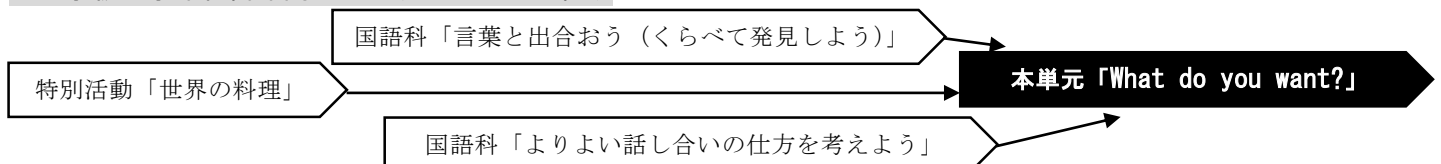
目的をもって自身で伝え合う場を選択し、状況に応じて既習表現を選択してやり取りする姿

身近な相手への配慮

基本的表現からの選択

既習事項と関連付ける・理解の確認

5 学級・学年経営年間プログラムとのかかわり



学 習 活 動

一貫した主体的学びを
つなぐ手立て～1

- 1 映像を見ることによって、世界各国の市場の様子と日本の様子を比較したり、新出単語の意味や発音を確認したりする。**【関ア・気ア】**
- ・市場の映像を見る。・チャッツを行う。・ミッシングゲームなどのゲームを行う。
 - ・全体やペアで果物と野菜カードを使ってほしいものをあげたり、貰ったりする活動を行う。

【個の確立】 野菜や果物が地面に広げられて売られている、小舟の上で売られているなどの世界の市場の様子を映像を観ることによって、児童が日本との違いに気付き、映像に出てくる新出単語の意味を理解し、それらの単語への興味をもつようにする。
その上で、ゲーム等を通して新出表現を何度も繰り返し聞いたりまねたり言ったりし、自分一人で単語を表現できるようになったことに自信をもつ姿を引き出す。

【見方・考え方を働かせる】

- ・海外の市場の様子を動画で提示し、野菜や果物の英語表現への興味・関心を高めた後、言い方を確認することによって、「身近な相手への配慮」という「見方・考え方」を働かせて、新出単語の発音をまねたり、相手に伝わるように言ったりする姿を引き出す。

【個の内面化】

- ・野菜や果物の新出単語を用いて楽しくゲーム等ができたことを振り返り、それらの表現に自信をもったり、「次回も言ったり、やり取りしたりしたい」という思いに繋がられるようにする。

1

- 2 果物の新出単語などを使って、オリジナルパフェを作るために、店員と客とに分かれ、交代しながら食材を求めたり、渡したりする活動を行う。**【関イ・慣ア】**
- ・パフェの写真を見て、単語の復習を行う。
 - ・新出単語を使った別のパフェの写真を提示し、写真と同じ食材を求める活動例でやり取りの方法を確認する。
 - ・新出単語の果物を用いながらやり取りし、オリジナルパフェを完成させる。
 - ・友達とオリジナルパフェを見合う。

【個の確立】 複数の果物などの食材の中から自分の好きな果物を選択してオリジナルパフェを作る活動を提示することにより、食材を自由に選んでやり取りすることを楽しみながらコミュニケーションを図る姿を引き出す。

【見方・考え方を働かせる】

- ・同じ食材を複数選択できる場を設定し、店員とお客とに分かれた活動においてスムーズにやり取りする方法を問うことによって、「基本的表現からの選択」という「見方・考え方」を働かせて、店員や客として数と食材の表現を組み合わせて注文するやり取りを行う姿を引き出すようにする。

【個の内面化】

- ・「How many?」がどのような時に便利かをワークシートに記述したり、やり取りの中でその既習表現を選択した理由について問うたりすることによって、「How many?」や選択した既習表現の有用性を実感できるようにする。

1

- 3 野菜の新出単語などを使って、オリジナルピザを作るために、店員と客とに分かれ、交代しながら自分が望む食材を求めたり、渡したりする活動を行う。(本時) **【関ウ・慣イ】**
- ・ピザの写真を見て、単語の復習を行う。
 - ・新出単語の野菜を用いながらやり取りし、オリジナルピザを完成させる。
 - ・友達とオリジナルピザを見合う。

【個の確立】 お店によって品揃えや価格が異なったり、食材の大きさやパンの形が異なったりするなど、実際のお店に近い設定をし、店と食材の選択の幅を広げることで、必要に応じて自ら伝え合う場を選び、状況に応じてやり取りしようとする姿を引き出す。

【見方・考え方を高める】

- ・店によって品揃えが異なる場を設定し、「客に好まれる店員の対応」とは何かなどを問うことによって、「既習事項と関連付ける」「理解の確認」といった「見方・考え方」を働かせて、店員として金額や商品に対する客の理解を確認したり、客への対応を考えたりしながらやり取りを行おうとする姿を引き出すようにする。

【個の内面化】

- ・「店員と客のやり取りで大事なことは何か」などを問いながら、状況とやり取りについて具体的に振り返ることによって、店員の立場になった時に価格や商品を確認したり、相手の理解を確認したりすることがよりよいコミュニケーションのために必要であることを再認識できるようにする。

1

7 本時について (3 / 3 時間目)

(1) 本時の目標

- ・野菜の新出単語や I want ～. What do you want?などの既習表現を用いて、客や店員の立場でオリジナルピザの食材を注文したり、相手に価格や商品を確認しながら渡したりするやり取りをすることができる。

(2) 一貫した主体的学びを「つなぐ」ために (個の内面化)

- ・「店員と客のやり取りで大事なことは何か」などを問いながら、状況とやり取りについて具体的に振り返ることによって、店員の立場になった時に価格や商品を確認したり、相手の理解を確認したりすることがよりよいコミュニケーションに繋がることを再認識できるようにする。

(3) 本時の展開

学習活動	主な働きかけ・手立て	【評価】 個に応じた指導 (▲)																																		
<p>1 食材の言い方の復習と課題の把握、お店の確認をする。</p> <p style="text-align: center;">オリジナルピザを作ろう!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全部の食材が言えるようになったな。・何を入れよう。 ・店によって食材に特徴があるね。 ・肉を中心にピザを作りたいな。 <p>2 活動の流れを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店員グループとお客グループに分かれて活動し、時間を決めて交代する <p>3 食材を集める活動を始める。</p> <table border="1" data-bbox="76 913 708 1124"> <thead> <tr> <th>お客</th> <th>店員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Hello.</td> <td>Hello. What do you want?</td> </tr> <tr> <td>I want a circle.</td> <td>Here you are.</td> </tr> <tr> <td>I want onion.</td> <td>How many pieces?</td> </tr> <tr> <td>One, please.</td> <td>\$ 1, please.</td> </tr> <tr> <td>Here you are.</td> <td>Thank you. Here you are.</td> </tr> <tr> <td>Thank you.</td> <td>Thank you.</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 よりよいやり取りの仕方について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注文を繰り返して確認した方がいいね。 ・特に一度にたくさん食材を買う時には、間違ってしまうかもしれないから、個数を確認した方がいいね。 ・食材を見せながら確認する方法もいいね。 ・価格が合っているかしっかりと確認するといいいね。 ・確認するためには、相手が話すことをよく聞かないといけないね。 <p>5 活動を再スタートする。</p> <table border="1" data-bbox="162 1469 1257 1774"> <thead> <tr> <th>お客</th> <th>店員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Hello.</td> <td>Hello. What do you want?</td> </tr> <tr> <td>I want a circle.</td> <td>A circle?</td> </tr> <tr> <td>Yes.</td> <td>OK. Here you are. What do you want?</td> </tr> <tr> <td>I want tomato.</td> <td>OK. How many pieces?</td> </tr> <tr> <td>Two, please.</td> <td>OK. \$ 2, please.</td> </tr> <tr> <td>OK. Here you are.</td> <td>Thank you. \$ 1…2. OK.</td> </tr> <tr> <td></td> <td>two pieces of tomato. OK?</td> </tr> <tr> <td>Yes.</td> <td>Here you are.</td> </tr> <tr> <td>Thank you.</td> <td>Thank you.</td> </tr> </tbody> </table>	お客	店員	Hello.	Hello. What do you want?	I want a circle.	Here you are.	I want onion.	How many pieces?	One, please.	\$ 1, please.	Here you are.	Thank you. Here you are.	Thank you.	Thank you.	お客	店員	Hello.	Hello. What do you want?	I want a circle.	A circle?	Yes.	OK. Here you are. What do you want?	I want tomato.	OK. How many pieces?	Two, please.	OK. \$ 2, please.	OK. Here you are.	Thank you. \$ 1…2. OK.		two pieces of tomato. OK?	Yes.	Here you are.	Thank you.	Thank you.	<p>【個の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> □児童の様子を見ながら、言い方に自信のなさそうな単語を全体で確認する。 □様々な店 (肉の食材・野菜の食材・魚介の食材の店) を設定し、児童が食材を自身で選択する姿を引き出すようにする。 □活動をデモンストレーションし、見通しをもって臨めるようにする。 □活動が始まったら児童のやり取りを見守り、途中で I want ～. What do you want?を用いてやり取りしている児童を全体に取り上げて紹介し、価値付ける。 <p>【見方・考え方を高める】</p> <ul style="list-style-type: none"> □客側の立場に立ってやり取りを振り返らせ、「どんな店員だと、客は気持ちよく買い物できるか」を考える。児童が対話する中で、必要に応じて日本のお店でのやり取りを想起させながら、価格や食材の確認をするなど、相手に配慮する「見方・考え方」を高められるようにする。 	<p>▲言い方に自信がもてない児童にはそばに行き、一緒に発音などの確認をする。</p> <p>【やり取り・発言】 関ウ・慣イ</p>
お客	店員																																			
Hello.	Hello. What do you want?																																			
I want a circle.	Here you are.																																			
I want onion.	How many pieces?																																			
One, please.	\$ 1, please.																																			
Here you are.	Thank you. Here you are.																																			
Thank you.	Thank you.																																			
お客	店員																																			
Hello.	Hello. What do you want?																																			
I want a circle.	A circle?																																			
Yes.	OK. Here you are. What do you want?																																			
I want tomato.	OK. How many pieces?																																			
Two, please.	OK. \$ 2, please.																																			
OK. Here you are.	Thank you. \$ 1…2. OK.																																			
	two pieces of tomato. OK?																																			
Yes.	Here you are.																																			
Thank you.	Thank you.																																			
<p>6 学級全体に発表し、やり取りを見合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が作りたいものができて嬉しいな。 ・確認しながら相手と丁寧にやり取りができたよ。 <p>7 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やり取りする時には、相手の話をよく聞いて確認することが大切だね。 	<p>【個の内面化】</p> <ul style="list-style-type: none"> □物を売り買いする時のやり取りを取り上げ、客に好まれる店員になるために大事なことは何かを振り返り、理解の確認や既習事項との関連について振り返ることができるようにする。 1 	<p>【発言・振り返りシート】 関ウ・慣イ</p>																																		